

琵琶湖を主題とした環境教育

滋賀大学教育学部附属中学校の取り組みを JICA 研修員が視察

国際協力機構関西センター(JICA 関西)は「水資源の持続可能な利用と保全のための統合的湖沼・河川・沿岸流域管理」研修を(公財)国際湖沼環境委員会(滋賀県草津市)で12月22日まで実施中です。エジプト、エチオピア、インド、イラク、ミャンマー、スーダンの6か国から来日した水資源を統括する省庁の職員ら9名が自国の湖沼、河川、沿岸の統合的流域管理の改善に資するため日本の取り組みを学んでいます。

琵琶湖は関西圏1,400万人の飲料水の水源であり、保全活動の長い経験と蓄積があります。滋賀大学教育学部附属中学校では琵琶湖の将来を担う生徒たち自らが琵琶湖について調べ、学び、発表する「BIWAKO TIME」を過去35年間総合的な学習の時間を利用して取り組んでいます。この環境教育活動により生徒達の琵琶湖に対する愛着、環境改善意識が芽生え将来、高い意識を持って行動できる市民に成長することが期待されます。

途上国では水環境問題は喫緊の課題であり、学校教育における環境教育の充実が課題となっております。

是非取材をご検討下さい。

日時：11月14日(水) 13:10~16:30

- ◆ 場所：滋賀大学教育学部附属中学校
- ◆ 当日の研修項目：環境教育
- ◆ 通訳有り(日⇄英)



【本件に関する問い合わせ先】

◆ JICA 関西 業務第一課

宮下 えりこ

TEL 078-261-0383

e-mail : Miyashita.Eriko@jica.go.jp

◆ 当日の連絡先

滋賀大学教育学部附属中学校

太田 聡

TEL : 077-527-5255